



進路指導室だより

平成29年度 第4号 (7月19日発行)

オープンキャンパスに参加しよう！

君たちの中には、卒業後の大学選択について、まだ早いと考えている人はいないでしょうか。部活動があるから忙しいとか、3年生になってから本気を出せばいいやと考えている人もいるのでは？実は関東・関西圏等に住む高校生は周囲に多くの国立・私立大学、大企業等があるため、ごく自然にアカデミックな事にふれあっています。要するに、なりたい職業・やりたい学問や研究等を見つけやすく、学問に対するモチベーションや主体的に勉強に取り組もうという姿勢を高めやすい環境にあるのです。それに比べ、この甲南高校はどうでしょうか。交通の便は良く、隣には鹿児島大学があり、鹿児島の中では最も恵まれた環境にあります。しかし、関東・関西圏等と比べると**日常的に触れる情報量が少ない**のです。そのためか、今ひとつ進路に対する意識が高まらず、それが学習に対する姿勢にも影響している生徒が少なからずいるように思えます。



pixta.jp - 9763067

そこで、各大学が実施しているオープンキャンパス（以後 OC）に参加してはどうでしょうか。タイミングがうまく合わないときは大学見学でもいいでしょう。大学や学部学科を名前だけで進学し、入学してから「こんなはずじゃなかった」ということにならないように。「よし！この大学で頑張りたい」、「この学部で**こんな研究をしてみたい**」、「OCに行ってみただけ**意外と他のことがあうのかも**」などいろんな意識が芽生えてくれば、また学校での勉強にも意識が高まるはずですよ。夏休みが部活動だけで終わってしまうのはもったないと思います。ぜひ、自分の将来の為にこの夏に投資してみてください。

さて、OCについては Web で調べる必要があります。大学によって内容も様々ですし、申込み方法も様々です。そういうことを自分で調べ、参加の計画を立てることも重要な力だと考えます。余裕があれば複数の OC に参加してみてもいいでしょう。3年生も決して遅くはありません。いまひとつモチベーションが上がらない人にはぜひお奨めです。

以後、**OCや大学見学、大学選びのチェックポイント**を示します。参考にしてください。

- ① 大学の特色
- ② 学部・学科の内容（授業や研究の内容など）
- ③ 入試の確認（AO、推薦、一般、センター利用、定員・日程・試験内容）
- ④ 学内の施設・設備（最新か）・学食・雰囲気
- ⑤ 学生生活の確認（学生の様子・サークル活動など）
- ⑥ 資格取得（種類・合格率など）
- ⑦ 就職状況の確認（就職先・就職率・就職サポート・インターンシップなど）
- ⑧ 留学制度（単位互換・長期・短期など）
- ⑨ 交通手段（往復の交通費・定期代など）
- ⑩ 奨学金・特待生制度（種類・利用条件など）
- ⑪ 学費・教材費など
- ⑫ 大学院への進学状況・編入学など
- ⑬ 住居環境（寮・アパート・家賃の相場など）
- ⑭ 世間の評判（満足率・退学率・各ランキングなど）



【SGH通信】

なぜ「高大接続」が騒がれているのか？

先月号で大学入試が変わる話をしました。では、なぜそれがW-K I活動やSGH事業と関係があるのでしょうか？それは、社会人として求められる力が以前と変わってきたからです。概要を表すと以下のとおりになります。

	学力	他のスキル
以前	<ul style="list-style-type: none"> ● 暗記 ● 知識 ● 正しい唯一の答えを出す 	<ul style="list-style-type: none"> ● 効率的に取り組む力 ● 思考力 <p>普通の授業、アクティブラーニング</p>
現在	<ul style="list-style-type: none"> ● 暗記した内容の理解 ● 広い知識 ● 答えのない問いに取り組む手段を知る <p>課題研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 主体的に取り組む力 ● 思考力 ● 判断力 ● 表現力 <p>マスターピース執筆 フィールドワーク、ディベート</p>

普通の授業、進路セミナー、甲南塾、修学旅行、ブラッシュアップセミナー

瞳まりあ先生による表現力講座、W-K I 中間・最終発表会

どうでしょうか。甲南高校が取り組んでいるW-K I活動やSGH事業は、まさに高大接続の実践といえます。社会のニーズに合わせ、大学や高校の授業内容の改革が行われています。これが主な大学入試の変更の理由なのです。

【読書のすすめ】 今月のこれを読め！

哲学用語図鑑 田中正人著

巷は哲学がブームらしい。この背景には、3.11以降の自分に対する漠然とした不安感からくるものに加え、「いかに生きるか」という人間の根源的なテーマによるものがあるという。なんだか取っ付きにくい「哲学」ですが、その入門書としてこの図鑑を紹介します。

ソクラテスにプラトン、デカルトにニーチェ、そしてサルトルやソシュールまで一度は耳にしたことのある哲学者と、これら哲学者たちを象徴するセリフと解説とが、イラストをふんだんに使ってわかりやすく、描かれています。あなたも一度手に取ってみると、新しい自分に出会えるかもしれません。～「知は力なり」～（ベーコンの言葉…生活の向上は教義からでなく、経験や実験による自然のしくみの理解から得られる！）

